

岐阜県自然共生川づくりの手引き（案）目次

第1章 本書の目的.....	1
1．1 本書を手にされた皆さんへ	1
1．2 本書が目指すもの	2
1．2．1 川をじっくり見よう.....	2
1．2．2 どんな川づくりをするのか.....	4
1．2．3 自然共生工法認定工法を使ってみよう.....	6
1．2．4 さあ、やってみよう.....	7
1．3 本書の内容	9
1．3．1 本書の構成	9
1．3．2 本書の主な特徴	9
1．4 本書の使い方	10

第2章 水辺づくり・川づくりの目標設定	1
2.1 目標設定の意義と目標設定作業の概要	1
2.1.1 川づくりの目標設定を行う意義	1
2.1.2 川づくりの目標設定を行なうにあたって	2
2.1.3 目標設定作業の流れ	3
2.2 「目標事項の抽出と整理」の概要	4
2.2.1 「目標事項の抽出と整理」の流れ	4
2.2.2 目標設定の項目とアウトプット	6
2.3 STEP1：対象河川に係る情報収集	8
2.3.1 既存計画・治水目標の確認	8
2.3.2 地域情報の確認と整理	11
【参考2-1】目標設定の実施体制と情報の記録	13
2.4 STEP2：目標設定を行なう区間の設定	15
2.5 STEP3：目標設定のための現地踏査	16
2.5.1 現地踏査のポイントとまとめ方	16
2.5.2 現地踏査の準備と進め方	19
2.5.3 良好な河川環境が見られる区間をお手本に	20
【参考2-2】河川環境スケッチの例	22
【参考2-3】現地踏査結果のまとめ方	23
2.6 STEP4：様々な観点からの目標（案）の抽出	24
2.6.1 目標設定の項目	24
2.6.2 目標（案）を抽出する際のポイント	25
【参考2-4】目標（案）の抽出と絞込みの例	27
2.7 STEP5：目標優先度の決定	30
【参考2-5】目標優先度の決定方法の一例	31
2.8 「目標設定の抽出と整理」のまとめ	33
2.9 「目標設定の具体化」の概要	34
2.9.1 「目標設定の具体化」の流れ	34
2.9.2 「目標設定の具体化」のアウトプット	36
2.10 STEP6：既存計画の確認	38
2.11 STEP7：目標設定平面図の作成	40
2.11.1 目標設定平面図の準備	40
2.11.2 目標設定平面図の完成	43
【参考2-6】代表断面を抽出するためのブロック分割	44
2.12 STEP8：目標を達成するためのアイデア発想	45
2.12.1 目標を達成するための情報とアイデア	45
2.12.2 目標達成のための改善アイデア発想の方法と整理方法	45
【参考2-7】KJ法による整理	49
2.13 STEP9：代表断面イメージの作成	50
2.13.1 代表断面イメージに盛り込むアイデアの組み合わせを検討する	52
2.13.2 代表断面のアウトラインの検討（横断形の概略検討）・流下能力チェック	52
2.13.3 コンセプトや工夫の内容を書き込む	53
2.13.4 代表断面イメージを客観的に評価し改良する	53
2.14 基本計画図・基本設計図の取りまとめ作業へ	54

第3章 工法選定・施工者との目標共有	1
3.1 どのように工法を選べば良いのか？工事発注までに何をしておくべきか？	1
3.1.1 工法選定についての現場担当者の悩みへの一つ的回答	1
3.1.2 自然共生川づくりにおける「施工者との目標共有」の重要性	1
3.2 工法選定と施工時配慮事項抽出の流れ	3
3.2.1 検討のタイミングと流れ	3
【参考3-1】「岐阜県自然共生工法認定制度のレビュー」への対応	6
3.3 工法選定の条件整理と施工時配慮事項の抽出	7
3.3.1 STEP 1：代表断面を細かいパートに分割する	8
【参考3-2】ワークシートを用いたSTEP 1の作業の進め方	9
3.3.2 STEP 2：工法に求める機能・性能と施工時配慮事項の抽出と整理	12
【参考3-3】ワークシートを用いたSTEP 2の作業の進め方	14
3.3.3 STEP 3：検討結果の取りまとめ	16
3.4 岐阜県自然共生工法認定工法の活用方法	17
3.4.1 認定工法を使いこなすための4つのポイント	17
3.4.2 認定工法データベース・施工事例データベースの活用	18
【参考3-4】工法選定における河川景観への配慮	24
【参考3-5】災害復旧における工法選定フロー	25
【参考3-6】河岸工法（護岸工法）選定における景観配慮の考え方	27
【参考3-7】「工法の系統」と各系統に含まれる具体的工法	30
【参考3-8】護岸工法選定の「べからず集」	31
3.5 施工者に提示すべき情報の整理と目標の共有	32
3.5.1 施工者に提示すべき情報	32
【参考3-9】国土交通省の工事追加特記仕様書	33
3.5.2 工事発注時の工事追加特記仕様書の例	34
【参考3-10】現状保全や現場対応可能な部分をチェックする	37

第4章 岐阜県下の川づくり事例と現場の工夫	1
4.1 施工者との目標共有のための工夫	1
4.2 施工段階での現場の工夫	2
4.3 モニタリング・維持管理段階での工夫	25

巻末資料1 現場で着目すべきポイントと水辺の見方

現場で着目すべきポイントと水辺の見方	1
1．中小河川における自然共生川づくりと現場で着目すべきポイントと水辺の見方	1
2．水理特性の整理	4
現況川幅 B_0 の把握	5
現況流下能力の把握	6
等流計算・不等流計算	7
粗度係数について	10
掃流力について	12
河道特性の流程区分	15
3．川の働きで形成される多様な地形構造（河床形態を見抜く）	18
河床形態について	19
4．瀬・淵構造（水域部の着目点）	22
淵と早瀬に魚類等が多く生息している	23
瀬と淵の区分について	24
瀬と淵のできる条件	26
5．水際の構造（水際部の着目点）	29
水際植生について	32
水際空隙について	41
砂州がつくこと、河岸が形成されると予測される場合は配慮不要	44
河岸の透水性と保水性	48
6．河畔林など良好な風景について（陸域部の着目点）	49
陸域部の代表的な自然環境特性	49
良好な河畔林を保全する	52
7．背後地及び周辺の土地利用（景観、歴史、文化、利用の観点）	53
河川景観を考える	54
河川景観の基礎知識	56
河川景観の調査	65
骨格のデザイン	71
場のデザイン	73
8．上下流の状況	78
どういう川の姿を参考にするか	78
9．河川環境特性整理票（A表の作成）	80

巻末資料2 岐阜県の県土と水辺

岐阜県の県土と水辺.....	1
1．岐阜県の水辺環境と水辺に関わる事業の概要	1
1．1　岐阜県の河川の概要	2
1．2　岐阜県の河川の特徴	3
1．3　水辺に関わる事業の概要	5
2．各流域の特徴	8
2．1　木曽・飛騨川流域	8
2．2　揖斐川流域	14
2．3　長良川流域	18
2．4　土岐川流域	23
2．5　矢作川流域	26
2．6　宮川（神通川）流域	28
2．7　庄川流域	31
2．8　九頭竜川流域	34
3．各流域河川の特徴と自然環境	36
3．1　木曽・飛騨川流域	36
3．2　揖斐川流域	39
3．3　長良川流域	43
3．4　土岐川流域	49
3．5　矢作川流域	50
3．6　宮川（神通川）流域	51
3．7　庄川流域	55
3．8　九頭竜川流域	57
4．岐阜県の河川災害	58
4．1　平成11年災害	59
4．2　平成12年恵南豪雨災害	67
4．3　平成14年台風6号及び梅雨前線豪雨災害	68
4．4　平成15年9月豪雨災害	71
4．5　平成16年台風23号災害	74

巻末資料3 使用様式集

【計画1】 検討対象区間・治水目標等の確認	1
【計画2】 地域情報の確認と整理	2
【計画3】 自然共生川づくり検討会メンバー表	3
【計画4】 検討対象地先の一次案（たたき台）の設定	4
【WS-1-1 現地踏査結果と着目ポイントの整理】	5
【WS-1-2 河川環境スケッチ】	6
【WS-2-1 目標設定準備シート】	7
【WS-2-2 目標優先度の決定】	8
【WS-3 目標設定シート】	9
【WS-4 目標設定平面図】	10
【WS-5 一次案に対する改善アイデア発想】	11
【WS-6 代表断面イメージ】	12
【WS-7-1 断面構成要素と部位の整理シート】	13
【WS-7-2 機能・性能と施工時配慮事項の抽出シート】	14
工事追加特記仕様書（使用できる工法・製品の内容）	15